



2019.11.5  
NO.634号  
全港湾関西地方  
阪神支部  
大阪市港区築港  
1-12-27  
06-6574-8424  
078-303-0800  
全港湾は一人  
でも入れます

# 阪神支部第56回定期大会

## 自動化による港湾運送事業法の形骸化を許すな！



10月5日から6日にかけて全港湾阪神支部第56回定期大会を神戸ホテルフルーツプラウで開催し、執行部、代議員、傍聴合わせて118名が参加しました。大会議長団には辻内智春氏(サン・トランスポート分会)、本田晃季氏(大洋運輸分

会)が選出され、議事を進めました。中央本部を代表してあいさつに立った松永書記長は、2月に行われた全国港湾中央委員会春闘方針を決定したところから4月14日から15日にかけて決行した48時間ストライキをはじめ7月25日の仮協定までの流れを説明されました。

支部代表あいさつで畠山委員長は、産別最賃問題で全国港湾が中労委に救済申請を行うこと、港湾労働者の月間推計給与額及び月間推計実労働時間の推移、生産年齢人口が1995年から減少し、2053年には総人口が1億人を切ってしまうこと、2018年に労働局や労働基準監督署から是正勧告を受けたトック運送事業社が2017年に比べて増えており、その内の労働時間関係の違反が過半数を占めていること、厚生労働省が2024年に向け、改善基準告示を見直すこと、国土交通省が改正貨物自動車運送事業法に基づき規制を強化する。また荷主勤告制度の発出対象を事業所から事業者に変更する改正貨物自動車運送事業法で2023年度末までに標準的運賃の告示制度導入について説明されました。



「ボックスベイ」イメージCG動画

また動画資料としてアラブ首長国連邦のドバイで実用化を目指している「ボックスベイ」と呼ばれるヤードスタッキングシステムを2020年のドバイEXPOにあわせてパイロットプロジェクトとしてジュベールのターミナルに導入するという計画がされており、そのイメージCG動画が上映され、完全自動化の

革新的な作業映像を参加者の皆さんは真剣なまなざしで見つめていました。畠山委員長は「港湾の機械化・自動化に対し、雇用を守ることは勿論だが、あるコンテナヤードは40名のオペレーターがいて自動化してしまつと13名で作業ができてしまつ。自動化によって人数が減り、港湾運送事業法が形骸化されてしまつ。そこところも考えていくべきだ」と提起されたのち、「今大会は皆さんの発言で活発な大会にして頂きたい」と述べられました。

日興サービス分会から「ネット上での名誉棄損」「偽装請負」「西脇氏への一方的な賃金カット」について、ジャパンエキスプレス分会から「全港湾つばしのために管理職組合が結成され、組合員の分断が行われた。今後も攻撃が予想されるが団結して頑張りた

い」と報告がありました。質疑討論においては9名の方から発言がありました。2018年度の主なたがいの経過と総括案、2019年度運動方針案、2018年度の決算報告、会計監査報告、2019年度予算案、秋から年末にかけての闘争方針案、及び支部方針具体化案、大会宣言案が提案され、さらに「憲法改正発議を阻止する決議」案、「8時間働けばぶつに暮らせる社会を実現するための労働者の立場に立つた働き方改革を求める決議」案、「都構想をはじめとする維新政治の転換に取り組む決議」案の3本の特別決議も提案されました。

執行部提案は参加者全体の拍手で採択され、最後は畠山委員長の力強い団結力ンパローで大会は終了しました。

執行委員 坪井 雄志

学校に出掛けていき、だれもいない教室に入ると、黒板に書かれてあったはずの「神州不滅」の文字が消されていた。当時小学生だった精神科医、中井久夫さんの終戦の日の記憶である。つい昨日までたたき込んできた教えに説得力がなかったことを知って恥じたのか、教えた事実そのものを消したかったのか。「こうしたことをする大人に対して嫌な思いがしました」と中井さんの回想にある。神戸市の小学校で明らかになった教員による暴行、暴言のニュースがひどい。同僚に無理やり激辛カレーを食べさせると。コピー用紙の芯で尻をたたき、わいせつなメッセージの送信を強いる。記事を読むうち気がめいり、景色がゆがんで見えてくる。大の大人がよつてたかつてよくもまあ、ひとの心に寄り添いましょう。友だちと助け合いましょ。教室ではきつとそう話していた先生の、見たくはなかった冷酷さに、聞きたくはなかった陰湿な笑いに、児童たちは目を耳をふさぎたくなつた。た。た。た。再発防止、あるいは「信頼回復」。教育委員会や職員室の黒板に、大字で書かねばならぬ悲しさよ。

19年度方針を確立し、団結ガンパロー

# 大会発言

全国一律最低賃金の実現に向けた運動をして頂きたい。

港湾の自動化に伴い、雇用の補償をどのようにしていくのか。

大運分会 園田 兼嗣



トラックドライバーの待遇改善に向けて様々な運動を進めてもらいたい。

インランドデポの調査・視察についてこれからどのような考えをもって行動していくのか。

大運分会 西 真広



トラック・海コンドライバリの労働環境について得意先での荷積み、荷下ろし作業時にはエンジンを切る事が義務付けられている。

しかし、真夏の車中は熱中症にもなりかねない状況となる事がある。最近ではエンジンを切っても作動するパーキングエアコンを装備している車両も出てきている。

エアコン、エアサスを導入させた時と同じように支部が全国に先駆けて装備できるように求めます。

エアコン、エアサスを導入させた時と同じように支部が全国に先駆けて装備できるように求めます。

大運分会 上岡 大造



A職の住宅手当未払い問題が解決できたことにお礼を申し上げます。

台風の時に仕事を休むと有給休暇扱いとなる。会社との協議の中では自己都合で休むわけではないから有給扱いではなく、別の休暇の制度を設けるべきだと要求してきた。会社は前例がないとの理由で回答できないとしている。地区港湾とも連携して港湾全体をクロースするようなルール作りはできないのか。支部執行委員会で協議し、全国に発

信してもらいたい。全日神戸分会 河本 英博



六甲C-1の滞留問題について、最後尾がわからないほど並んでいることもあり、乗用車との接触事故も発生している。早急な対応をお願いしたい。

PC-18西デポのアウトゲートで、メーカーの専用ブースと一般ブースがあるが、(終了時間前)一列に混在して並んでいる状態になっている。時間に関係なく2レーンで対応はできないのか。

神陸コンテナ輸送分会 井上 友寛



社と協議して63歳までは現行労働条件を引き継ぐことを会社が了承した。さらなる前進を求めていく。COMPAS(コンパス)新・港湾情報システムが導入された際、海コンドライバリーにどのような影響が出てくるのか。また、兵庫県に対しても、どれくらいの費用がかかるのか調べてもらいたい。

日本コンテナ輸送分会 百田 倫典



マルチテナント型倉庫とどのようなものか。運賃同盟は今どうなっているのか。コンテナのアライアンスとは。シンケン分会 萩原 幸一



上組のスト破りについて。組合側に謝罪文が出されていると聞いているが、

いまだに公表されていない。日本港運協会の会長店社が自らスト破りを行うなど、組合を軽視している。しか思えない。公の場での謝罪を含め、組合員が納得いく説明をしてもらいたい。

後藤回漕店分会 濱田 健一



青年部は将来の阪神支部の各分会を担う世代に先輩方が築き上げてこられた歴史・意志を継承し育てるべき場であると考えます。

青年部に入り3年目となり、反戦平和問題を中心に活動を行っているが、運動の停滞を感じている。このままでは青年部が消滅してしまうのではないかと感じることもある。

部長になって1年間、このような流れを変えたいという思いで取り組んできたが、現在の体制では限界を感じている。

原因としては青年部会に参加する組合員が少ないこと。200名以上の青年層がいるにもかかわらず、なぜ自分たちだけなのかという思いもある。

参加者が多ければいいというものではないが、今よりもっと活発な意見が得られることが期待できる。

女性組合員の参加も募りながら、青年・婦人部という構想を提案したい。他労組との交流会を企画したいが、予算の問題があり、前向きな検討をして頂

き。

## 三四労学習会

10月4日、神戸ホテルフールツラワーに於いて、三四労実務学習会を行いました。

今回は部会内から入江執行委員が講師となり学習を行いました。



入江講師

労働基準法を中心に、安全衛生法や改善基準告示の基本的な部分。また、裁判の判例から整理解雇の4要件や、執行委員として必ず必要となってくる知識。監督に申告に行く際の注意事項等。O×問題や書き込み方式問題で出題し、回答の理由について詳しく説明されました。

と助かる。

菱倉運輸入分会 篠崎 謙悟



参加者からは、これまで間違って解釈していたこと、忘れてしまっていたこと、知らなかったこと等を再認識する機会となり、学習の大切さを改めて感じました。

これからも三四労部会では部会委員のスキルアップを目的に積極的に学習会を行っていきます。

執行委員 廣渡 信次



理由まで考えながら問題を解く部会員

# 神戸港湾第42回定期大会 更なる団結と 飛躍する神戸港を目指す

10月1日、神戸ホテルフールツラワーにおいて阪神支部から4名、全体およそ80名の参加で「神戸港湾第42回定期大会」が開催されました。

山本副議長の開会あいさつで始まり、議長団には神港労連の山本氏、検定地連の宮崎氏が選出され、議事を進められました。

代表あいさつで吉岡議長は、今日の景況状況に触れられた後、「今年は港湾職場で重大事故が6件も発生した。職場を改善し安全第一



神戸港湾 吉岡議長

変えていく」と、神戸港湾としての強い決意が発表されました。

2018年度経過報告  
決算報告、会計監査報告が行われ、2019年度運動方針案、予算案が提案され、質疑討論に入りました。

変えていく」と、神戸港湾で苦慮している状態だ」とPC-18(上組)のスト破りは神戸港湾として、大変難しい判断や行動を迫られたと思う。最大限の敬意を表したい」との発言がありました。

それらに関し、「各企業の定年延長実施状況については、しっかり把握し中央へ報告したい」「今後も運動を継承し、スト破りがま

法的全港・全職種適用、石綿被災救済制度のより具体的な前進にむけて取り組む

船社、荷主の安全軽視を許さず、徹底した安全荷役環境の確立に取り組む 豪雨、地震、台風などの災害対策を強化し、安心・安全な神戸港の更なる飛躍を目指す等々が盛り込まれた大会宣言(案)が採択されました。

その後、稲田副議長から開会あいさつが行われ、最後に吉岡議長の「団結カンパニー」で大会は終了しました。

執行委員 坪井 雄志

構想は白紙となり、一船社・一港連の合理化は取りやめになった。神戸労連が「事前協議制度」を要求し、元請・事業者の労働組合を構成。1979年の「5・30協定」を経て、1986年の事前協議制度の確立の先駆けとなった等々を説明されました。

最後に玉田書記長は「産別協議体制の再構築へ向け

## 事前協議体制の前身であるKCT闘争に学ぶ

10月2日、全国港湾の玉田書記長を講師に招き、「産別労使関係・事前協議制度を再び考える/KCT闘争に視点を置いて」と題した学習会が行われました。

玉田書記長は港湾労組が誕生した1946年から機械化・自動化という「体制的合理化」に直面している今日までを説明され、その中でもKCT闘争については、1967年に4船社(MOL、K、JL、YSL)がコンテナ船専用ふ頭のオペレーションの一元管理のために神戸コンテナターミナル会社(KCT)運営会社を設立し、コンテナ船業務を委託する動きがあった。一貫直営体制を目的とし、一船社・一港連の合理化を狙うもので指定事業者から排除された労働者の職域がなくなってしまう。神戸労連が決起し、「神戸港湾免許反対労働組合協議会」を結成。港運免許申請は取り下げられ、元請一社指名で4元請け・9事業者が排除される。神戸労連が2日間のスト決行、1969年まで行動を持ち越しながら運輸省(現国交省)の調停でKCTのターミナルオペレーション

この定期大会と学習会を通じて合理化による港湾の機械化・自動化は私たちの職域を奪うものと改めて思いました。そして今日まで港湾の職場を守ってきた先輩方の意志を私たちは受け継いでいかなければならないと強く感じました。

執行委員 坪井 雄志

## 主張

### 甚大な被害をもたらす台風 更なる防災と支援の仕組みを

梨、新潟、長野、静岡の13都県に大雨特別警報を出しました。同警報は、数十年に1度のような、経験したことのない危険な大雨に際して発表される最高レベルのもの

規模ですすむ気候変動の影響を背景に、台風などの風水害が激甚化していることは深刻です。

そのような状況にあるなか、「(被害は)ますますで収まった」(自民党二

化する政治の役割が重要になっていきます。

なにより急がれるのは、避難所の整備と環境改善です。これから冬を迎え、インフルエンザや風邪などの感染症の蔓延にも注意が必

要です。

昨年は台風21号が阪神港の港湾エリアに甚大な被害をもたらし、歩み624号で詳細をお伝えしました。

平成28年には異例の進路をとった台風10号が東北・北海道を直撃し、市街地、農業・畜産業にも大きな被害をもたらしました。

災害が従来と異なる様相になる状況下では、防災・減災、被災者支援の仕組みもこれまでの枠を超えた見直し、必要な法改正にも踏み出すべきです。防災・復興・復興にこそ、政府は力を注ぐべきです。

「神戸港湾免許反対労働組合協議会」を結成。港運免許申請は取り下げられ、元請一社指名で4元請け・9事業者が排除される。神戸労連が2日間のスト決行、1969年まで行動を持ち越しながら運輸省(現国交省)の調停でKCTのターミナルオペレーション



全国港湾 玉田書記長

台風15号が千葉県を中心に大きな被害をもたらしてから1か月余り、一時は猛烈な勢力にまで発達した台風19号は大型で強い勢力を保ったまま静岡県伊豆半島から上陸し、関東、福島県を縦断しました。

東北、関東・甲信越、東海をはじめ広範囲に甚大な被害を引き起こしました。

千曲川など多数の河川が氾濫して、濁流が住宅地に押し寄せました。各地で土砂崩れが相次ぎました。

多くの犠牲者を出し、農林水産業への打撃も計り知れません。

政府は、現場からの切実な声を受け止め、きめの細かい迅速な対策を取ることが求められます。

気象庁は、岩手、宮城、福島、茨城、群馬、栃木、東京、埼玉、神奈川、山

多くの地域で観測された24時間雨量は、観測史上最多記録を塗り替えました。

台風が強い勢力のまま接近・上陸した要因として、日本近海の海水温の高さなどが指摘されています。地球

階俊博幹事長)という発言は、被災者が置かれた現実からあまりにかけ離れた許し難いもので、認識を根本から改めるべきです。苦悩を深める被災者に心を寄せ、励ましとなる支えを強

要です。

昨年は台風21号が阪神港の港湾エリアに甚大な被害をもたらし、歩み624号で詳細をお伝えしました。

平成28年には異例の進路をとった台風10号が東北・北海道を直撃し、市街地、農業・畜産業にも大きな被害をもたらしました。

災害が従来と異なる様相になる状況下では、防災・減災、被災者支援の仕組みもこれまでの枠を超えた見直し、必要な法改正にも踏み出すべきです。防災・復興・復興にこそ、政府は力を注ぐべきです。

「神戸港湾免許反対労働組合協議会」を結成。港運免許申請は取り下げられ、元請一社指名で4元請け・9事業者が排除される。神戸労連が2日間のスト決行、1969年まで行動を持ち越しながら運輸省(現国交省)の調停でKCTのターミナルオペレーション

この定期大会と学習会を通じて合理化による港湾の機械化・自動化は私たちの職域を奪うものと改めて思いました。そして今日まで港湾の職場を守ってきた先輩方の意志を私たちは受け継いでいかなければならないと強く感じました。

執行委員 坪井 雄志



# 大阪交運共闘会議 なんば駅頭宣伝行動 市民も興味！大阪にカジノはいらん

阪神支部では、海コンを含む交通運輸業界が抱える諸問題について、過去より積極的な取り組みを行っており、その一環としていくつかの単産組織で構成された大阪交運共闘会議の活動に参加しています。



なんば駅頭でビラ配布宣伝行動

交運共闘には阪神支部の他に、一般トラックやタクシー・バスの運転手、JRの運転士や車掌、航空業界から管制官、国土交通省で働く方など、官民が合同と

なって集結し幅広い議論がされています。

長時間労働や、企業の利益を最優先とした中での安全性の軽視など、業界が抱える課題には共通項も多く、市民の方々に広く知ってもらったため、年に2回ビラ配布の街頭宣伝行動を行っています。10月2日にはなんば高島屋前で秋の宣伝行動を行い、ティッシュ付きのビラ1500枚を配布しました。

阪神支部として、日々慢性的な渋滞が発生している夢洲にカジノや万博を誘致する事は私たちの暮らしと生活を妨げるものであり、誘致には断固反対するとの訴えを行っています。ビラを受け取った方の中には、足を止めて宣伝参加の仲間質問するなどの光景も見受けられました。

## カマヤン 困難事例増える ありむら港



執行部を中心に大阪ブロックの仲間にも参加してもらった形で活動の幅を広げながら、阪神支部の組合員全員の共通認識とした中で議論し、課題の解決や前進に向けての取り組みを強化していかねばなりません。

### 抗議行動の継続と更なる強化へ

### 組合潰しは絶対に許さない！

また、行政に対しての要請行動なども行っており、今後の交通運輸に携わる者の労働条件改善や地位向上に向けて、継続的に取り組んでいきたいと思えます。

今年2月下旬、ジャパ

明らかになり、度重なる不

エクスプレス分会において、親会社である商船三井からの出向者で総務部長という肩書がありながら、管理職労組設立を企て、全港湾の組合員に「商船三井がジャパンエクスプレスの清算を行い、60名程度は他社が引き継ぐが全港湾組合員は、雇用できない」と吹聴、勧誘し、組合員の脱退が拡大している実態が発覚しました。

これは明らかな「黄犬契約」による不当労働行為です。さらに支配介入なども

向に事態の收拾を図ろうとしない親会社の無責任な態度から、責任追及の抗議活動を強化しています。

8月から週2回、神戸港頭地区で宣伝カーによる抗議宣伝を行い、ポートアイランドにある商船三井(KICT)前では重点的に抗議宣伝を行っています。また10月からは、大阪港地区でも宣伝カーによる抗議行動を併せて行っています。

私たちはこうした卑劣な不当労働行為に対し、いかなる権



商船三井(KICT)前での抗議宣伝

執行委員 鈴木 大介

### 新教宣部員紹介



今期から教宣部に入りました全日検神戸分会の河本です。学びと成長の場になりたいと思っています。よろしくお願ひします。教宣部では分会員の方からも機関紙制作する仲間を募集しています。一緒に「歩み」を作成しながら学びましょう！

## 分かるかな？

## 懸賞クイズ



### 【問題】

これは読めない。下記の読み方をすべて答えてください。

- 1. 蝸牛
- 2. 信天翁
- 3. 海獺
- 4. 河豚
- 5. 蜻蛉
- 6. 人鳥
- 7. 熊貓
- 8. 土竜
- 9. 蛤
- 10. 海胆

633号の回答 「 C 」

7名の方から応募があり、全員が正解でした。抽選の結果、下記の5人の方にQ U Oカードを進呈します。

松井謙一(三林)、長野雄二(大運)、堀古知司・西野太基・藤井啓介(ジャパンEXP)、

634号の締め切り日は、11月20日(水)です。ふるってご応募ください。